



三条信用金庫 DX戦略書

- 三条信用金庫の未来への一歩 -

2025年3月14日

三条信用金庫

理事長 白倉 徳幸

- 1 基本理念・経営理念
- 2 DX推進の背景と目的
- 3 DXビジョン
- 4 DX戦略
- 5 DX推進の体制
- 6 DX推進の環境整備
- 7 DX推進に必要な人材育成
- 8 DX推進達成の指標

人びとの しあわせと
中小企業の 繁栄をめざし
若さと創意と情熱をもって
あす
未来に向かって前進しよう



ミッション

会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、持続可能な地域社会を創る。



バリュー

お客さまとのリレーションシップを追求し、地域に根差した協同組織金融機関として、お客さまと地域が抱える課題解決に努め、地域社会全体の発展に寄与する。



ビジョン

●営業ビジョン

- ①県内顧客満足度No.1金融機関
- ②三条市内、預金貸出金シェアNo.1の達成

●人材ビジョン

- ①県内顧客支援力No.1金融機関
- ②共感性、向上心、熱意にあふれた職員

●組織ビジョン

- ①県内職場満足度No.1金融機関
- ②地域金融機関として変わらないために、変わり続ける組織

人口減少と高齢化、デジタル技術の台頭の中で、地域金融機関としての持続可能なデジタルサービスの提供と顧客支援が求められています。

人口減少と高齢化

人口減少と高齢化が深刻化しており、地域創生が社会的課題となっています。この現状に対応するため、地域金融機関として、新たな価値提供が不可欠です。

デジタル技術の台頭

ネットバンク等のデジタル技術による新たな金融サービスの台頭の中、地域金融機関である当金庫は競争力を維持するために、デジタル技術を活用し、顧客ニーズに応える柔軟なサービス提供を進める必要があります。

デジタル技術を駆使し、地域の課題解決と 新しい価値を創造し共に成長する未来を目指します。

● 金庫内でのデジタル技術活用

デジタル技術によって当金庫における課題を解決し、新たな経済価値を創造する基盤を築きます。

● 地域課題解決

デジタル技術を活用した金融サービスを活用し持続可能な社会を構築します。

● 新しい価値創造

地域住民や企業に対し新しい価値を提供し、地域経済の活性化を目指します。多様なニーズに対応した金融サービスを提供し、顧客満足度の向上を図ります。

顧客接点のデジタル強化、サービス提供力の強化、業務効率化、 人材育成を通じて持続可能な成長を実現します。

● 顧客接点でのデジタル利活用の強化

スマホアプリやローンWEB申込システムを導入・活用し、来店せずとも利用できる金融サービスを提供することで、お客さま接点の強化を図り、顧客満足度と競争優位性を向上させます。

● データ活用を通じたサービス提供力の強化や業務効率化

AIによって顧客の属性データや取引履歴、ライフイベントデータを分析し、個別ニーズに応じた提案を行います。

● 業務の効率化

RPAの活用やデジタル分野研修を通じて業務の効率を上げ、事務作業を削減します。それにより、役職員一人ひとりの生産性向上を図ります。

● DX人材の育成

ITパスポート資格取得の奨励やeラーニングを活用し、DXを支える人材基盤を強化します。

DX対応委員会設立と部門横断的な取り組みにより、 DX推進の体制を強化します。

DX対応委員会の設立

専務理事が統括するDX対応委員会を設立し、組織全体で一貫したDX推進を目指します。
この体制により、戦略的な取り組みを効果的に進めます。

統括/専務理事

委員長/担当常務理事

各部店

ITシステム環境を整備し、 顧客データの効果的な活用や生産性向上を実現します。



顧客接点でのデジタル利活用の強化

- 顧客の多様なニーズへの対応に向けたWebサービス/アプリへの投資
 - ・紙の小切手・手形廃止に向けた対応(2024年11月)
 - ・来店不要での口座開設が可能となるようなデジタル投資



データ活用を通じたサービス提供力や業務効率化

- データ利活用に向けた基盤への投資
 - ・AI及び統計手法を駆使し、顧客取引データを分析するためのデータベースの導入、利活用(2024年10月～)
 - ・融資関連システム改修



事務の効率化

- 対外事務の効率化(2024年2月～)
 - ・窓口のペーパーレス、自動化への投資
- 内部事務の効率化(2024年8月～)
 - ・スケジュール管理や業務の文書管理のデジタル化への投資

ITパスポート資格取得とeラーニング活用で、 DX人材を育成し、人材基盤を強化します。

ITパスポート資格取得

職員のITスキルを向上させるため、ITパスポート資格取得を奨励し、デジタル知識の普及を進めます。

eラーニングの活用

いつでも学べる環境を整え、eラーニングでの学習機会を提供し、人材の成長を支援します。

**DX推進目標として、
非対面チャネル強化、事務の効率化、人材育成を設定致します。**

**顧客接点での
デジタル利活用の強化**

- ✓ ローン申込総数に占める
WEB完結型ローンの申込率
数値目標：30% ⇒ 50%
- ✓ 投信ネット販売の推進
数値目標：35% ⇒ 50%
- ✓ バンキングアプリの利用件数
数値目標：700件 ⇒ 3,000件

事務の効率化

- ✓ ペーパーレスへの対応
令和7年3月末時点の紙使用量を基準に
3%削減

DX人材の育成

- ✓ ITパスポート資格取得者数
52名 ⇒ 100名
- ✓ 銀行業務検定「DXビジネスデザイン」の
取得者数
50名
- ✓ e-ラーニングを活用したDX科目履修者数
100名